

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	避難行動要支援者支援事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	2 款 1 項 13 目	事業番号	486	所属長名	新田亮仙
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	丸本竜士	
法令根拠等	災害対策基本法、伊予市避難行動要支援者避難支援全体計画				実施期間	【開始】	平成 29 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり					【終了】	平成 30 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	防災意識の向上対策の推進 地域で支え合う体制や風土づくり						
事業の対象	全市民		事業の目的	平常時から避難行動要支援者に関する情報の把握や、関係者との共有並びに情報伝達体制及び避難誘導体制を整備し、災害時等に自ら避難することが困難な避難行動要支援者の安全を確保する。			
事業の内容 (整備内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の把握と名簿作成 ・登録申請 (同意) 者の増加啓発 ・避難支援者の協力啓発 ・避難支援等関係者による活用啓発 ・避難行動要支援者名簿の活用 		昨年度の課題に対する具体的な改善策	庁内避難行動要支援者支援検討会を開催し、今年度の実績報告に併せて、市民福祉部局と防災部局の役割分担について説明し理解を得た。			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	642	24	0	0	0	15	個別計画策定者数	人	902	902	900	874
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0							
県支出金		0	0	0	0							
地方債		0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	642	24	0	0	0	15						
職員の人工 (にんく) 数	0.30	0.29				0.29						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982			0			
※ 直接事業費+人件費	3,047	2,339				2,339						
主な実施主体	伊予市		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		直接							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					24	24	24	24		96		
成果指標	指標	個別計画策定者数	単位	人	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度	
	指標設定の考え方	個別計画策定者数は、新規登録による増加分と、転出や死亡等による減少分が関連していることから、前年度個別計画策定者数を基本に、当該年度策定者数を見る事が推進度を測る指標として適当であると判断する。				目標	620	902	874			
	指標で表せない効果	避難支援者が登録されていない個別計画も多く、実際の避難支援充実度は、個別計画の数だけでは表現されない。				実績	902	874				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		「あい・愛プラン」としての認識は広まりつつあり、引き続き啓発を行っていききたい。今後は、庁内検討会などの機会を通じて、制度の周知と情報の収集、管理、運用を関係各課が主体的に関わることができるよう対応を検討する必要がある。							
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の周知には市民福祉部局の協力が欠かせないことから、引き続き協力を求めると共に、事業全体の流れを基にそれぞれに求められる役割について説明し理解を得た。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	4				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3				
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦勞した点・課題 昨年度、本事業について対象者に文書を送付し個別計画申請者数を大きく増やしたが、個別計画作成者数は死亡や転出等によって減少することから、単純に増加させることが難しくなっている。 また、個別計画登録者には避難支援者の登録までできていない者が少なく、個別登録そのものの充実に向けた啓発活動を引き続き続ける必要がある。	
			コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4				
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S		事業の方向性 ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業の目的は減災対策に直結するものである。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	5				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3					
効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識 新たな個別計画の登録や既存の計画のブラッシュアップを進めるために、市民への啓発と庁内関係部署との連携維持に配慮する。		
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3					
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		